



学校だより

YY-NET 公式サイト <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/mitakedai/>

第418号
横浜市立みだけ台中学校
10月 令和3年9月30日

『月』

校長 小林 誠

9月21日は、十五夜の満月でした。あいにくの曇り空で、月が見えたり隠れたり…百人一首の歌の『めぐりあひて見しやそれともわかぬ間に 雲隠れにし夜半の月かな』そのままの月でしたね。皆さんは十五夜を楽しむことができたでしょうか。

さて、9月1日に始まった短縮・分散登校が、去っていく台風16号とともに終わり、10月4日からは通常登校となります。台風一過の秋晴れとなるといいですね。

振り返ってみると、9月に予定されていたPAAや自然教室、修学旅行は実施できなくなりました。部活動も中止となり、クラスでも半分の友人としか会えない日々が続きました。我慢の日々が続きました。

その一方、クロームブックを使った新しい学びの形も出てきました。まだまだ今は初歩の段階ですが、これから先、オンデマンドやオンラインの双方向授業も手の届く未来に近づいてきた実感があります。

反面、チャットでの悪口が原因での痛ましい事件の報道もありました。新しいツールの使い方の問題があったわけですが、基本的ないじめの構図は一緒です。9月21日のお知らせでもお伝えしましたが、『いじめがいけないという点において、手段が何であれ変わることはありません』。クラス揃っての授業が再開しますが、改めて気をつけていきましょう。

この短縮・分散の期間、不安な気持ちになったり、イライラしたり落ち着かなかったりした人も多かったのではないのでしょうか。部活動や委員会活動も再開し、少しずつ日常が戻ってきます。それでも気持ちが落ち着かないときは、ぜひ、友達や先生たちに話してみてください。きっと、少し心が軽くなりますよ。

あれだけ猛威を振るったデルタ株も落ち着きを見せ、感染者は減り続けています。12歳以上のワクチン接種も進んでいます。まだまだコロナ対策は続きますが、少し、ホッとできる状況になってきているようです。秋晴れの空の下、散歩をしたりスポーツを楽しんだりして体を動かし、気分転換を試みましょう。こちらも百人一首の歌、『今来むと言ひしばかりに長月の 有明の月を待ちいでつるかな』の気持ちで、確実な対策は怠らずに、慌てずのんびり『コロナ明け』を待ちたいと思います。

